

科目責任者 石橋 賢一（病態生理学研究室）

■教育目的

開講して8年目の本年の目標は西洋近代医学と薬剤開発についての歴史を学び、病態生理学や薬物治療学の理解を深め、実用的な知識として活用できるようにすることである。歴史をたどることで、薬学が薬を武器にした病気との闘いの歴史であることを認識することも重要である。のちに学習する必須科目（病態生理学・薬物治療）にも興味が広がる。

【卒業認定・学位授与の方針：YD-②、YD-⑤、SD-③、SD-④】

■学習到達目標

- 1、病気が発見され、診断や治療法が確立された歴史を理解する
- 2、臓器相互の関係から体全体の視点から病気や薬物療法を理解する
- 3、薬や治療法の発見の歴史から学ぶ
- 4、臨床医学の考え方がどのように発展したかを学ぶ
- 5、科学革命と医学革命の関連について理解する
- 6、歴史上の人物の個性と役割を学ぶことで、医学・薬学を身近に感じる。

■準備学習（予習・復習）

予習：特に必要ない

復習：特に必要ないが興味をもった項目について調べておく（レポート提出は複数可）

■授業内容

はじめに現在の疾患の理解を補うように病態や治療の概略を説明する。さらに分野ごとの歴史だけでなくエピソードを主体とした疾患の発見・治療の歴史を臓器別に解説する。スライドを用いた講義と、オーディオやビデオを用いた体験型授業も行う。

No.	項目	授業内容	SBOコード
1	医薬学近代史総論	近代医学から現代までの進歩を概観する：ワクチン、麻酔、消毒法からヒトゲノム、iPS細胞まで	
2	循環器疾患の診断と治療の歴史	血圧計、心エコー、降圧薬、強心薬、利尿薬、弁置換術、心電図、心臓カテーテル、ステント、抗凝固薬、アスピリン、ニトログリセリン	
3	臓器移植の歴史	移植免疫、脳死、iPS細胞、腎臓移植	
4	細菌感染症の歴史	結核、梅毒、ハンセン病	
5	寄生虫感染症の歴史	住血吸虫、フィラリア	
6	ウイルス感染症の歴史	天然痘、ポリオ、ウイルス肝炎	
7	熱帯病の歴史	マラリア、デング熱、エボラ出血熱	
8	糖尿病の歴史	インスリン、グルカゴン、SU剤、GLP-1、DPP阻害薬、SGLT阻害薬	
9	悪性腫瘍の歴史	ウイロヒョウ、アルキル化薬、イマチニブ、ヒ素、骨髄移植、遺伝子検査	
10	血液疾患の歴史	輸血、白血病、臨床検査学、細胞培養	
11	腎代替療法の歴史	血液透析、腹膜透析、	
12	生殖医学の歴史	妊娠、分娩、月経、人工受精、試験管ベビー、避妊、先天異常	
13	神経疾患の歴史	シャルコー、アルツハイマー、パーキンソン、プロカ、脳波、CT、MRI、fMRI	
14	精神病の歴史	クレベリン、フロイト、ロボトミー、電気通電、向精神薬	
15	医療制度の歴史	医薬分業、保険制度、病院、海外医療制度の比較	

■授業分担者

石橋 賢一

■課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

出席10%、レポート90%によって評価する。